

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	人類史Ⅱ (3E)
科目基礎情報					
科目番号	0055		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教科 (人文科学系)		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 『新詳世界史B』 帝国書院、 『日本史B改訂版』 清水書院 (いずれも令和4年度「人類史Ⅰ」で使用したもの) / 補助教科書: 『グローバルワイド最新世界史図表』 第一学習者、 『最新日本史図表』 第一学習社 (いずれも令和4年度「人類史Ⅰ」で使用したもの) / その他: 自製プリントの配布				
担当教員	長井 栄二				
到達目標					
1. 近代世界システムの概要がわかる。 2. 欧米の市民革命・産業革命と日本の近世史の概要がわかる。 3. 世界大戦と日本近代史の概要がわかる。 4. 世界大戦後の世界の歴史と日本現代史の概要がわかる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	近代世界システムの特徴を、具体的に説明できる。	近代世界システムの概要を説明できる。	近代世界システムの概要を説明できない。		
評価項目2	市民革命・産業革命の意義と日本の近世史の特徴を、具体的に説明できる。	市民革命・産業革命と日本近世史の概要を説明できる。	市民革命・産業革命と日本近世史の概要を説明できない。		
評価項目3	19世紀の世界史の中に、日本近代史を位置づけて、具体的に説明できる。	世界大戦と日本近代史の概要を説明できる。	世界大戦と日本近代史の概要を説明できない。		
評価項目4	20世紀の世界史の中に、日本現代史を位置づけて、具体的に説明できる。	世界大戦後の世界の歴史と日本現代史の概要を説明できる。	世界大戦後の世界の歴史と日本現代史の概要を説明できない。		
学科の到達目標項目との関係					
(A)人類の幸福 A-1					
教育方法等					
概要	近現代世界の成り立ちについて、また特に世界の歴史と日本の近現代史とを関連づけて学ぶことによって、現代の国際社会の中で諸地域の文化を理解するために必要な基礎能力を身に付ける。				
授業の進め方・方法	授業形式。授業中には板書を書き写すだけでなく、口頭説明のメモをとること。必要に応じて適宜、小テストないしレポート課題を実施する。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。				
注意点	合格点は50点である。前期・後期の成績は、それぞれの間・期末の試験結果を70%、小テストないしレポートを15%、授業態度を15%で評価する。学年総合成績 = (前期成績 + 後期成績) / 2。 授業を受ける前: 日常的にテレビや新聞などのメディアで、日々のニュースに触れておくこと。 授業を受けた後: 授業中に出てきた分からない漢字・語句や地名を、指示されなくとも自らすすんで、辞書や地図で調べて確認しておくこと。この実直な作業は、後に本当の実力として大いに身になるものである。 なおこの科目は、「人類史Ⅰ」の内容を理解していることを前提とする。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業のガイダンス	授業の進め方と評価の仕方について説明する。	
		2週	近代世界システムの成立	近代世界システムの特徴について学ぶ。	
		3週	西ヨーロッパの覚醒	ルネサンスと宗教改革について学ぶ。	
		4週	オランダの覇権	覇権国家の特徴について学ぶ。	
		5週	イギリス市民革命と重商主義	市民革命と重商主義について学ぶ。	
		6週	西ヨーロッパの覇権争い	ヨーロッパ近世諸国の特徴について学ぶ。	
		7週	到達度試験 (前期中間)	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。	
		8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答	
	2ndQ	9週	東アジアの成熟①	日本の中世社会の終焉について学ぶ。	
		10週	東アジアの成熟②	日本の幕藩・鎖国体制について学ぶ。	
		11週	イギリスの産業革命と覇権	工業社会の出現について学ぶ。	
		12週	環大西洋革命	アメリカの独立とフランス革命について学ぶ。	
		13週	ヨーロッパの自由主義とナショナリズム	自由主義とナショナリズムについて学ぶ。	
		14週	「西洋の衝撃」とアジアの変容	西洋列強諸国のアジア進出について学ぶ。	
		15週	到達度試験 (前期末)	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。	
		16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答、および授業アンケート	
後期	3rdQ	1週	明治維新①	「西洋の衝撃」に対する日本の対応について学ぶ。	
		2週	明治維新②	日本近代国家の成立について学ぶ。	
		3週	帝国主義の時代	列強諸国による世界分割について学ぶ。	
		4週	アジア諸地域におけるナショナリズムの芽生え	アジアにおけるナショナリズムの広がりについて学ぶ。	

4thQ	5週	第一次世界大戦	第一次世界大戦の経緯について学ぶ。
	6週	戦間期の世界①	ファシズムの出現について学ぶ。
	7週	到達度試験（後期中間）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
	8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答。
	9週	戦間期の世界②	戦間期の日本社会について学ぶ。
	10週	第二次世界大戦	第二次世界大戦の経緯について学ぶ。
	11週	冷戦の時代	冷戦時代の世界について学ぶ。
	12週	多極化の進展	冷戦終焉前の世界について学ぶ。
	13週	冷戦後の世界①	冷戦秩序の崩壊について学ぶ。
	14週	冷戦後の世界②	現代の世界情勢について学ぶ。
	15週	到達度試験（後期末）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
	16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答、および授業アンケート

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	後11,後12,後13,後14,後15,後16
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16	

				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	15	0	15	100
基礎的能力	70	0	0	15	0	15	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0